

ミュージアム・グッズの販売

郷土博物館では、川瀬巴水のグッズをはじめ、過去に開催された特別展の図録や関連グッズ、古墳・馬込文士村・六郷用水の歴史などの各種ガイドブック、文化財関係の刊行物を1階受付で販売しています。



休館予定日

祝日・休日を除く毎週月曜日、年末年始、展示替え、収蔵庫
清掃の期間など

【年末年始】 12月29日(月)～ 1月 3日(土)

【展示替え】 9月29日(月)～10月 6日(月)
11月25日(火)～12月 1日(月)
1月13日(火)～ 1月19日(月)
3月16日(月)～ 3月23日(月)

※休館日につきましては、上記の他に臨時休館する場合がございますので、ホームページまたはお電話などでご確認ください。

大田区教育委員会 文化財担当

土・日・祝日、年末年始を除いて、午前9時から午後5時まで郷土博物館
内で業務をおこなっています。

文化財担当の連絡先

TEL 03-3777-1281 FAX 03-3777-1283

ご利用案内

入館料……無料

開館時間……午前9時から午後5時まで

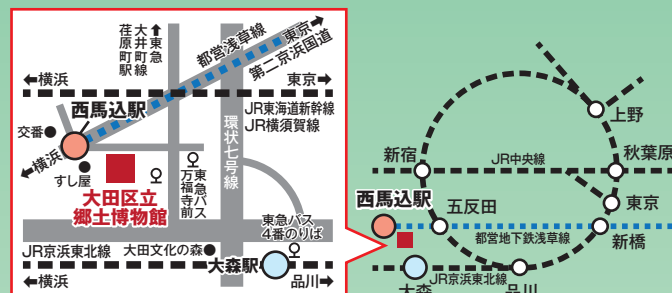
休館日……祝日・休日を除く毎週月曜日、年末年始、
展示替え、収蔵庫清掃の期間 など

交通案内

☆JR京浜東北線「大森駅」

北口改札（山王方面）の東急バス4番乗り場で
「荏原町駅入口」行に乗り「万福寺前」下車徒歩2分
※車椅子をご利用の方は、「大森駅」中央改札口を
ご利用ください。

☆都営地下鉄浅草線「西馬込駅」東口から徒歩7分



〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号
TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283



大田区立郷土博物館 ご案内

2025年4月～2026年3月



高橋松亭「市ノ倉 弘明画房」

昭和2(1927)~同10年

企画展

高橋松亭×川瀬巴水 ～日本の技と美～ 10月7日(火)～11月24日(月・祝)

江戸時代に生まれた浮世絵は日本の伝統美術として海外からの注目を集め、外国人の芸術家たちにも大きな影響を与えてきました。そして、浮世絵の伝統技術は大正時代に版元の渡邊庄三郎が興した「新版画運動」に継承されていきます。

渡邊は新版画の制作に必要な資金を調達するため、浮世絵の複製版画とともに明治40(1907)年頃からオリジナルな版画(新作版画)の制作に着手します。その制作を最初に依頼された絵師が高橋松亭でした。

令和7(2025)年は高橋松亭の没後80年という節目の年に当たります。これを機に開催する本展では、画業の最も充実した時期を大田区内で過ごした高橋松亭の風景画に加え、同じく大田区内に長く居住し、風景画の分野で新版画制作をリードした絵師・川瀬巴水の作品もあわせて展示します。渡邊を中心とする職人集団が築き上げた新版画を通じて日本の技と美をご覧ください。



高橋松亭「馬込」『都南八景の内』
大正11(1922)年4月



川瀬巴水「馬込の月」『東京二十景』
昭和5(1930)年作

写真展

昭和の大田区の人と町(仮) 1月20日(火)～3月15日(日)

寄贈写真をととして、昭和時代の大田区を振り返ります。



大森魚市場 昭和46年1月20日撮影



タイヤ公園 昭和46年5月31日撮影

※掲載写真は一例です。展示しない場合もありますので、ご了承ください。

企画展・写真展では関連催事を予定しています。

常設展示のご案内

私たちが暮らす大田区の歴史を広く深く学べるよう、情報検索システム「おおた歴史探検ガイド」と4つの常設展示コーナーを設けています。

当館はモノを通じておおたの歩みを学ぶ場です。「おおたモノ語り」をぜひお楽しみください。

※企画展・写真展期間中は、常設展の一部がご覧になれません。

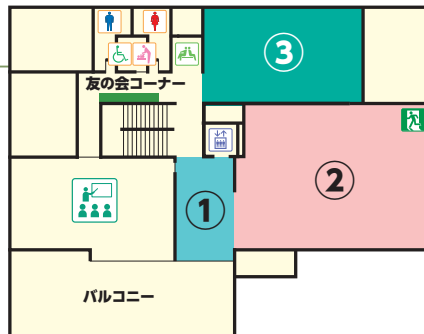
1F

- 女性トイレ
- 男性トイレ
- エレベーター



2F

- 女性トイレ
- 男性トイレ
- 車椅子使用者対応トイレ
- オムツ台
- 休憩スペース
- 会議室
- 非常口
- エレベーター



3F

- 女性トイレ
- 男性トイレ
- 情報コーナー
- 非常口
- エレベーター



①情報検索システム 「大田歴史探検ガイド」

大田区の歴史を地域ごとに学べます。画面に触らずに操作することができます。



②地中に刻まれた歴史

区内の旧石器時代から中世までの主要な遺跡や出土遺物を展示し、各時代から見た大田区の姿をたどります。



③農漁村の風景

荏原郡下に属した区域内の村々(農漁村)と、そこに生きた人々の暮らしを紹介しています。



④馬込文士村

かつて馬込・山王・中央に居住した文士・画家たちの作品の他、自筆原稿・遺品などを展示しています。



⑤近代化とまち

近代市街地化の歴史を紹介し、昭和22(1947)年に誕生した大田区の歩みを振り返る写真パネルを展示しています。



年間イベント予定

博物館講座、夏休み体験学習会、体験講座、縄文土器づくり、赤ちゃんと一緒に博物館へ等を行います。